様式第４号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	西脇市健康づくり推進協議会
開催日時	平成 30 年 7 月 12 日（木） 午後　1 時 30 分～　3 時 10 分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター
出席委員の氏名又は人数	村上典正委員、南久雄委員、蓮池一晃委員、長江利幸委員、岩井正秀委員、齋藤周藏委員、藤原伸子委員、松井やす代委員、藤井修一委員、森脇登志子委員、亀岡澄子委員、時政良光委員、藤本秀晃委員、新谷千久男委員 計14名
欠席委員の氏名又は人数	徳岡敏昭委員、富永なおみ委員、生田頼夫委員 計3名
出席職員の職・氏名又は人数	くらし安心部長　高田洋明、福祉部長寿福祉課長村井真紀、くらし安心部保険医療課長　長井恵美、くらし安心部健康課長　塩崎さゆり、健康課課長補佐　的場定美、健康課主査　西村香、健康課主査　岡本洋子、健康課主査　藤井貴子 計８名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	０人
議題又は協議事項	⑴　平成29年度保健事業実施報告及び平成30年度保健事業実施計画について ⑵　にしわき健康プラン（西脇市健康増進計画）中間評価について ア　中間評価実施の予定について イ　アンケート調査結果について ウ　数値目標の評価について
会議の記録（概要）	
	１　開会 ２　会長挨拶 ３　委員紹介

発言者	４　報告・協議
	⑴　平成29年度保健事業実施報告及び平成30年度保健事業実施計画について
事務局	平成29年度の主な事業の実績報告及び平成30年度の新規事業の説明
会長	報告について質問はないか。
委員	ABC 検診の対象年齢は何歳か。 がん検診は受診率も低下しているのか。
事務局	ABC 検診の対象は 25 歳以上を対象としている。 がん検診の受診率は低下している。
委員	ABC 検診結果の精密検査の受診率とがん発見数はどのようになっているか。
事務局	精密検査となった人は 126 人で 59.7%、がんの発見はありません。
委員	胃がん検診で精密検査となった 33 人全員が、医療機関で精密検査を受けたのか。
事務局	精密検査受診率は 84.8%のとなっており、精密検査を受けた人の中には、がん発見者はいません。
委員	がん検診を受けて、精密検査となっても、医療機関で異常なしになると、検診を受ける必要性を感じなくなり、受診者が少なくなるのではないか。毎年受けることに意義があることを啓発することが必要。 また、大腸検診の精密検査での発見率が、他のデーターより低い状況ではないか。
事務局	がん検診を毎年受ける必要性については、毎年啓発している。 大腸検診については、精密検査率が一番低い状況で、通

	知や電話等で勧奨はしているが、受診率が上がらない状況である。精密検査の受診率が低いので、発見率に差がある可能性がある。
委員	「フレイル」という言葉は、まだ一般に浸透していない。「ロコモ」も浸透していない状況の中で、さらに「フレイル」が出てきている。65歳まではメタボリックでやせる指導から、65歳以上には、痩せてはいけない、たんぱく質を摂ることを優先することになり、高齢者が混乱するのではないか。「フレイル」を理解できるように啓発が必要。
事務局	今年６月発行の長寿福祉課が発行している「高齢者便利帳」で「フレイル対策」について記載しており、今後も「フレイル」という言葉の啓発もしていく。
委員	昨年度から、「フレイル予防」を「高齢者の口からの健康」ということで歯科医師会としてかかわっている。
委員	食生活改善は食事を作ることが中心で展開していくことが多い。独居老人の男性は作る人が少なく、コンビニなどで買うことが多いので、お惣菜などの買い方への指導も含めてほしい。
	⑵　にしわき健康プラン（西脇市健康増進計画）中間評価について ア　中間評価実施の予定について
事務局	西脇健康プラン〔西脇市健康増進計画〕中間評価の 1～３ページについて説明
会長	質問がないので次の項目に進む。 イ　アンケート調査結果について
事務局	資料⑴西脇市を取り巻く状況、⑵市民アンケート調査結果について説明

委員	アンケート結果の15ページ「自分にあった食事量」とは、どのように判断するのか、正解はあるのか。
事務局	食事量の正解はないのですが、適正体重を維持できている、検診結果で異常があまりない状態が、適正な食事と考えられる。けれども正解はないのかもしれません。
委員	西脇市の郷土料理や行事食のアンケートがあるが、郷土料理がわかりにくい。また、この質問がなぜあるのか主旨がわからない。
委員	郷土料理、行事食はわかりにくい。祭りの時に作るさば寿司や甘酒などが郷土料理で行事食になるが、若い人にはわからないことが多い。食育では、地域の食材を使った料理などを推奨している。食の健康は、子どもから高齢者まで幅が広く難しい。
委員	このアンケートは興味深い。生活の実態がよく出ていると思う。今後もアンケートを実施し、状況の変化を確認するとよい。 ウ　数値目標の評価について
事務局	西脇健康プラン〔西脇市健康増進計画〕中間評価の6～30ページについて説明
会長	自殺者は減少しているが、自殺以外の孤独死や看取られない死亡などが増えている。その実態を把握しているのか。
事務局	兵庫県の保健衛生統計の死亡原因の範囲で確認している。
会長	孤独死は全国で10万人あまりいる。子どもの虐待などもある。西脇市の状況を調べ、その対応をお願いしたい。
委員 会長	死亡統計では、そのような統計は出てこない。協議事項以外での質問はあるか

委員	出生数は 270 人ぐらいか。
事務局	290 人前後で推移している。
委員	「西脇子育て支援ガイドブック」は、3,000 部作っているというが、そんなに必要なのか。
事務局	こども福祉課が発行している。毎年見直しを行い、昨年度は 3,000 部、今年度は、3,500 部発行している。このガイドブックは、認定こども園等から市内の対象者の方や転入者及び関係者に配布している。
委員	アンケートの回収率が 45.7%となっていることについてどう思うか
事務局	少し低い状況であるが、前回の調査でも 47.25%となっているため、ほぼ同じ状況と考えている。
会長	以上で報告・協議を終わる。 ５　その他
委員	自立支援介護の現状と今後の展望～常食化を中心に～講演会について紹介 ６閉会
問合せ先	西脇市くらし安心部健康課